

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名：一般国道419号梅坪 <sup>うめつぼ</sup> 拡幅	事業区分：一般国道	事業主体：愛知県								
起終点：自：愛知県 <sup>あいち</sup> 豊田 <sup>とよた</sup> 市上原 <sup>じやまはら</sup> 町 至：愛知県 <sup>あいち</sup> 豊田 <sup>とよた</sup> 市陣中 <sup>じんちゆう</sup> 町		延長：2.3km								
<b>事業概要</b> 一般国道419号は、岐阜県瑞浪市を起点とし、愛知県高浜市に至る延長約62kmの主要幹線道路である。このうち、豊田市中心地に隣接する梅坪拡幅は、豊田市北部の開発に起因して増加する中心市街地への大量の交通を処理する延長2.3kmの4車線化事業である。										
H2年度事業化	H元年度都市計画決定 (H年度変更)	H2年度用地着手								
H7年度工事着手										
全体事業費	約96億円	事業進捗率								
計画交通量	26,300台/日	供用済延長								
	0.7km									
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 3.2 (残事業) 6.1	総費用：(残事業)/(事業全体) 36/69億円 (事業費：35/68億円 維持管理費：1/1億円)								
	総便益：(残事業)/(事業全体) 219/219億円 (走行時間短縮便益：213/213億円 走行費用減少便益：5/5億円 交通事故減少便益：1/1億円)	基準年：平成16年								
<b>事業の効果等</b> ・災害への備え（緊急輸送道路としての位置づけあり） ・都市の再生（区画整理の沿道まちづくりとの連携あり）										
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 一般国道419号梅坪拡幅は、交通渋滞の緩和、豊田市と藤岡町、小原村を結ぶ南北方向の広域アクセス支援、東海環状自動車道（仮）藤岡ICへのアクセス支援に重要な役割を果たすことが期待されており、豊田市及び地元経済界等から構成される豊田市幹線道路整備促進協議会より早期整備の要望（平成16年5月）を受けている。										
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 一部供用区間においては土地区画整理事業の進捗に伴い沿道開発が進んでおり、交通渋滞はますます深刻化している。										
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 土地区画整理事業関連区間においてはH15年度に用地買収が完了し、その内0.8kmが供用済み、0.5kmをH17年度に供用予定である。また、残る1.5kmにおいては、H17年度に事業着手予定である。										
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 補償形態等の交渉に時間を要した土地区画整理事業の遅れに伴い、梅坪拡幅も全線供用予定年度を平成24年度に見直している。										
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 新工法による大規模なコスト縮減は無いが、路床安定処理の採用、再生砕石・再生As等の使用によりコスト縮減を図っている。										
対応方針	事業継続									
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性が増大していると考えられる。									
<b>事業概要図</b>										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">凡 例</th> <th></th> </tr> <tr> <td>供用中</td> <td style="text-align: center;">■</td> </tr> <tr> <td>再評価箇所</td> <td style="text-align: center;">▨</td> </tr> <tr> <td>内供用中</td> <td style="text-align: center;">■</td> </tr> </table>	凡 例		供用中	■	再評価箇所	▨	内供用中	■		
凡 例										
供用中	■									
再評価箇所	▨									
内供用中	■									

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。